

サンプリングの記録

調査件名 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト
長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

地点番号(地盤高) No. 7 5 2 (T. P. +7. 50m)

試料番号 (深さ) S1-2(6. 00m~6. 60m)

I. 現場記録

採取年月日	2020. 2. 18		担当者	佐藤 一郎		
ボーリングの方法	ハンドフィード式、 <u>ハイドロリックフィード式</u> 、オーガーボーリング、その他：電動式					
掘削流体の種類	ベントナイト泥水					
サンプリングの方法	固定ピストン <u>エキステンションロッド式</u> 、水圧式)、ロータリー式二重管、ロータリー式三重管、ロータリー式スリーブ内臓、その他：ローター式					
グサチューブ	長さ mm	1000	外径 mm	78	内径 mm	75
	肉厚 mm	1. 5	刃先肉厚 mm	0. 2	刃先角度 度	6
	内径比 %	0	材質	ステンレス	断面積比%, 内径差	8
サンプラー	サンプラー押込み長さ H cm	80	試料採取長 L cm	80	採取率 L/H %	100. 0
	サンプリングの状況 ¹⁾	チェーンブロックによる押込み				
シール	シールの方法	パラフィン, 松やに	刃先部シール厚さ cm	2. 5	上部シール厚さ cm	4
	サンプリングにおける異常の記載 ²⁾	貝殻片多く, 臭気あり				
凍結処理	凍結前質量 g	563. 5		凍結後質量 g	587. 8	
	排水量 ml	25		膨脹量 mm	3. 2	
土質名称	粘土(C)			現場での保管方法	スポンジマットに包み、作業小屋で保管	
試料の輸送方法	梱包： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 輸送： <input checked="" type="checkbox"/> 乗用車 <input type="checkbox"/> トラック便(借上, 混載), 航空便, 船便, 人力					

II. 室内記録

試料到着年月日	2025. 2. 18	担当者	井上 幸子
試料押出し年月日	2013. 2. 19	試料押出し方法	<input checked="" type="checkbox"/> 縦型 <input checked="" type="checkbox"/> 横型 <input checked="" type="checkbox"/> 刃先方向 <input type="checkbox"/> 頭部方向
室内での保管方法	恒温・恒湿の試料保管庫に水平にして保管		

深さ m	5. 4	5. 0	4. 6	備考							
cm	10	20	30	40	50	60	70	80	90	A 欄記号 (供試体選定位置の表示) — 試料の切断箇所 C: 圧密試験 D: 一面せん断試験 T: 三軸圧縮試験 U: 一軸圧縮試験 P: 物理試験 Sp: 保存材料	
A	P	U	Sp	U	T	D	C	P	Sp	Sp	
B											
C	<p>軟(乱れ)</p> <p>均質 細砂 均質 均質 均質 細砂 有機物</p> <p>パラフィンシールは良好、サンプリングチューブに若干の変形あり。チューブに作業中ついたりと思われる傷があちこちに見られるが特に問題はない</p> <p>全体として均質な暗灰色の粘土で粘土であるが、上部で少量の有機物を、下端に貝殻の破片を混入する。細砂が含まれる部分がある硬さは、一般的標準である</p> <p>軟(乱れ2)</p>										
<p>B 欄記号 (試料状態のスケッチ)</p> <p> パラフィン, 礫, 砂 シルト, 粘土, 土丹, 軟岩 ピート, 有機物, 貝殻 試料中のクラック</p> <p>注) スライムおよび乱れている部分の表示はその位置と範囲をB欄中にスケッチし、C欄の左端にスライムか乱れている部分かを記す。</p> <p>C 欄記号 (観察記録)</p> <p>色、硬さ、砂の薄層、レンズの発達状況、有機物、貝殻の混入量の度合、サンプリングチューブの状態およびシールの状況について記す。また、円は必要に応じて切断位置の断面をスケッチする。</p>											

特記事項

- 社製パラフィン
- 試験機製作所サンプリングチューブ
- 天気晴れ
- 湿度 60%

- 1) サンプラーの押込み方法、押込み荷重、ロッドの回転数、泥水の濃度、送水量などについて記載する。
- 2) ボーリング機械の浮き上がり、刃先の変形、引上げ時の試料の脱落、その他の異常について記載する。